市政だより
苫小牧市役所　市行政発行　小牧印刷工業株式会社　編集印刷
新苫小牧市役所

牛馬の移動（売買、売却、買受、斃死）は二十日以内にお届け下さい。なお生産届には種付證明書を添えて下さい。

市畜産係

就任のことば

市長　田中正太郎

今回また全市民各位の絶大なるご支援のもとにみたび市政を担当させていたゞくことになりました。私、過去八年間苫小牧市の首長として市民各位のご期待にそい得なかつたこと多々あろうかと思います。今その知遇に感激し、感謝の言葉がないのであります。それだけにその責任の重かつ大なるを痛感いたしております。これを最後のご奉公と考え老骨にむち打ち一身を市政に捧げたいと覚悟しております。何とぞ一そうのご指導とご協力とを懇願してやみません。私は過去八年間この目覚しく発展しつつある苫小牧をいかにして住みよい明るい都市に仕上げてゆくべきかと日夜苦慮し続けてまいつたのでありますが、幸いにして市民各位の熱烈なるご支援と各方面のご協力とによつて数十年来の宿望であつた苫小牧工業港の築設をはじめ、学校の整備上、下水道、都市計画、住宅難の解消、市民文化施設の充実、商工漁業の振興、農地の改良、失業対策、周辺原野の開拓並びに施設の拡充など大体根幹をなす施設に対しては一応その緒についたものと考えております。しかしながら、これらはたゞ単なる形骸に過ぎません。今後これらを拡充強化しまして充分なる活用のできるまで延ばしてゆかなければなりません。また一方港湾の進展とともにますます発展する市の形体をも整えてゆかなければなりません。これらが今後私に課せられた重大な責任と存じます。それにはまず私は、北海道開発のセンターとして工業地帯の造成のために工業港の促進と並行して工場誘致に努力しなければならないし、また背後地開発の促進に強力な運動を行い、一日も早く完成いたしますよう努力しなければなりません。これには、諸調査の完備、港を中心とした大都市計画など重要な仕事も残されております。この理想実現に邁進いたしたい所存でありますが、ときあたかも経済界の不振と政府豫算のデフレ政策、加うるに市の財政もまた緊縮を要する時にあり、これが実行は誠に困難であります。しかし、この方針にもとづきでき得る限り努力を払う覚悟でございますから、旧に倍するご指導とご鞭撻をお願い申上げます。そしてともどもに一日も早く大苫小牧市建設の完成によりもつと住みよい、明るい都市といたそうではありませんか。簡単ではありますが、本紙を通じ市民の皆さまに一言ご挨拶を申上げます。

もつと住みよい街に……

皆さまのご協力によつて

塚田氏、三代目議長に

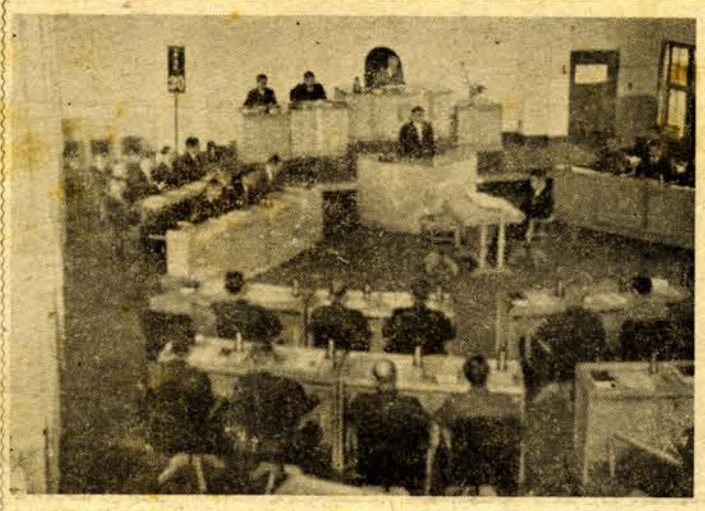
改選後初の市議會

副議長に渡邊氏選出

改選後初の市議会は、七日午後一時から招集、自己紹介の後、抽せんで議席順を決め、議事録署名人を指名会期を一日間とし、正副議長選挙に入る前に一旦休憩別室で一時間半にわたり協議をかさね、本会議を再開無記名投票で議長選挙を行つた結果、総投票数三十票のうち、塚田重氏二十五票渡辺広継氏五票で塚田氏（44）（前副議長）が三代目市議会議長に決まり、就任挨拶がありました。

引続き副議長選挙では、渡辺広継氏（65）が三十票で副議長に決まり、就任挨拶を行い、ついで無競争で三選に決まつた田中市長の就任挨拶と市教委委員長、助役、収入役、部課長、消防長、市立病院事務長らの紹介があり三時三十七分本会議を閉じ、引続き新議員と理事者らの記念撮影を行いました。

【寫眞は初の市議會】



圓滿なる議會運營に努め

市勢發展に全力を

市議會議長　塚田重

今回の市議会議員の改選に当りまして、私議員多数のご支持をいただき議長の重責を担うことになりました元より浅学非才その器でないことはよく自覚いたしておりますが、議会多数の御意思だしがたく就任いたしました。

新議会の発足に際して、考えられまするのは、内には市財政の困難、外には中央政局の複雑な動向、さらにはまた地方制度改革の論議等々、内外ともに重要問題が山積している状態であり現在ほど困難な時局に当面している時機はないと考えられるのであります。この現実に直面して議長の職に就任はいたしましたものの果して従来の輝かしい歴史をもつ苫小牧市議会の伝統を保持しつつ、更に新しい進展へその重責を全うし得るか否か、甚だ懸念いたしております。しかしながら市民各位のご鞭撻と議員諸賢のご協力をお願いいたしまして円満なる議会運営に努力し、市理事者ともども市発展のため、全力を捧げたいと考えておる次第であります。

なにとぞ市民各位の絶大なるご協力をお願い申上げ、簡単ではありますが議長就任のご挨拶といたします。

物事すべて公平に

市議會副議長　渡邊広繼

今回の市議会議員の改選に当りまして、私副議長の重責を担うことになりました私も皆さまのご支援により過去十一ヵ年間議会の一員として議席をけがしてまいりましたが、何等なすところなく、皆さまのご期待にそうことのできなかつたことを遺憾に存じております

塚田議長を援け五方市民の要望に応え、市勢の発展に全力を傾ける覚悟でございます。なにとぞ宜しくご指導ご鞭撻下さるようお願い申上げ、副議長就任のご挨拶といたします。

議會側選出の

教委など選任

17日定例市議會

才二回定例市議会は十七日午後一時から招集、議案は任期満了の助役選任、各常任委員の選任および教育委員、監査委員そのほか議員改選による議会側選出各委員の選任などです。

助産費や葬祭費として

五百圓支給いたします

一カ月以内に保険係へ請求を

市国民健康保険の被保険者がお産をしたばあい、助産費として二〇〇円、ほ育手当金として三〇〇円合計五〇〇円が支給されます。また被保険者が死亡したばあいには、葬祭を行う方に葬祭費として五〇〇円支給されます。

緑町、木場町、旭町、矢代町、弥生町、西弥生町、白金町、西町の区域内には、都市計画による土地区画整理を施行しておりますことは、市民の皆さまにはすでにご承知のことと存じますが、この土地区画整理区域内の道路豫定地を耕作のため使用しておられる方に「測量杭」を保護していただきたいと存じます。

道路用地には重要な杭が打つてありますので、この杭が耕作のため抜取られたり動かされたりしますので、測量作業に重大な支障をきたし、無駄な手数と費用をかけ再測量をしております。今年も昨年に引続き、最も精密を要する測量をすることになつておりますから、道路豫定地を耕作しておられる方は、測量杭を中心にして半径六尺の円形内を耕作しないようにご承知願いたいと存じます。測量技術上、杭の位置は一分の移動も許されないので皆さまが故意に動かさなくとも、耕作のため地盤がゆるみますと杭の頭が自然に動きますので、測量作業に非常な支障となつております。土地区画整理を早く完了し住み良い町を建設するため皆さまのご理解あるご協力を重ねてお願いいたしますと共に、市民の皆さまのご協力をお願いいたします。

測量杭を保護して下さい

道路予定地の耕作者へ

港灣促進と工場誘致の両特別委新設

議員協議會で決まる

市議会議員協議会は十二日開かれ、改選後の議会運営などについて意見の交換を行い、新たに港湾促進特別委員会ならびに工場誘致特別委員会を設けることにしました。協議会に引続き議員会を開き会長に相武、副会長に深沢雨議員を選びました。

市立圖書館の開館時間變る

市立図書館の開館時間は、今まで平日は午前九時から午後五時まででしたが、五月一日からつぎのとおり変更いたしましたからお知らせいたします

◇開館時間　午前十時から午後六時まで（但し、日曜は今までどおり午前九時から午後五時まで、また土曜も今までどおり午後一時から同五時まで）

◇休館日　今までどおり毎週月曜と毎月末日（整理日）

保險税の賦課徴收

保險係に移管

保険税の賦課徴収は今まで税務課で取扱つておりましたが、十日から保健課保険係に移管になり、今後保険税の賦課徴収は保険係で取扱いますからお知らせいたします。

八七、五五%

議會の投票成績

四月三十日に行われた市議会議員選挙の投票状況はつぎのとおりで、投票率は前回（昭和二十六年四月）の九二、七%に比べますと、五%以上低下しております

(一)当日の有権者
男　一一、八九五
女　一二、三六〇
計　二四、二五五

(二)投票数
男　一〇、七〇九
女　一〇、五二九
計　二一、二三五

(三)投票率
男　九〇、〇〇%
女　八五、七〇%
計　八七、五五%

(四)投票区別投票数調べ

区	所	票	者	票	率	投	票	(%)	投
①東小	五、三二	四、八一四			九〇、六				
②東高	五、二六	四、六二四			八八、四				
③公民	二、七四八	二、三九一			八七、〇二				
④西小	六、三八	五、四八一			八七、八六				
⑤糸井集	二、三	一七三			八四、一六				
⑥錦岡小	六、三	五九九			九〇、三五				
⑦樽前小	三、三二	三四一			九二、六六				
⑧沼端小	四、一七	三八一			九三、六一				
⑨勇小	一、九二一	一、七三三			八六、四五				
⑩柏原小	一、八六	一五四			九一、六七				
⑪植苗酪	一、六三	一三九			八三、八八				
⑫植苗小	二、九	一七二			八三、三三				
⑬静川小	一五	一二八			八五、三三				
⑭浜習林	六六	五二			七八、七九				
⑮丸山小	七八	六六			八七、一八				

放射性同位元素による漂砂の調査方法とその中間報告

(アイソトープ)

室蘭開發建設部から

ご承知のように、苫小牧工業港建設の成否を決する鍵は、苫小牧海岸の漂砂が港内に侵入したり、一万トン級の貨物船が出入する航路を埋めることのないように防波堤を造ることであるといつても過言ではありません。そこで、港の建設にたずさわつている私たちは、築港の大敵であるこの漂砂をいろいろな角度から調べておりますが、元来この漂砂の運動を観察することが非常に困難でありますから、従つてこの漂砂に対する防護対策を研究する学問、つまり海岸工学はつい近年始まつたばかりです。

私たちのこの港の防波堤も、漂砂から守るために合理的に、しかもできるだけ安く建設されねばなりませんが、そのためには苫小牧海岸の漂砂の運動を手にとるように直接観ることから始めようと決心してつぎのような世界でも初めての方法を考案して昨年夏、まず観ることに成功しました。現在では、この観た結果から築港計画上の有益な資料を逐次得ております。

この方法は、苫小牧海底の一局部に放射能をもつた硝子砂（そこの砂と大きさも重さも同じように作つたもの）を置くと、さつそく風、波、流れによつてそれらが漂砂とともに他の砂と一しよに動きよに動きはじめますこの動く有様は船の上から放射能測定器械によつて観察することができます。私たちは、放射能物質としてコバルト60と×亜鉛65と×射性硝子砂に仕上げるのです。この面倒で危険な作業は東大生産技術研究所でこころよく引受けてやつてくれました。放射能測定器械には、ガムマー線を敏感に測るのに一番よいシンチレーションカウンターを使いました。

昨年夏に行われた実験は、漂砂の一番多い砂堆と波打際との間の深さ三米の海底に放射性硝子砂を置いて行われましたが、六月末から八月半ばまでの長期間、その動きを観察することができました同時にこの漂砂を動かした外力である風、波、流れを測定しましたが、得られた結果は大ざつぱに言いますと、苫小牧海岸の砂堆内の漂砂は海岸線に沿つて動くよりも沖と岸との間の動きの方が激しいということ、沖と岸との間を往復しながらゆつくりと東から西に向つて動いているということがわかりました。今年も五月の末に、才二回の観測が行われ、漂砂の動きの少ない水深を見つけること、防波堤の根元の堆積が進行する程度を推し計ること、砂が防波堤を透過する程度を計ることなどが豫定されています。なお私どもの行つたこの実験は「放射性硝子による漂砂の現場実験」という題で、今夏スイスで開かれる国連主催の原子力平和利用国際会議に発表されることになつています。

市出身戦没者慰霊祭

緑ヵ丘公園で

〃〃〃